

安房高校生徒の皆さんへ

感染症拡大防止対策について

短い夏休みも終わり、今日から授業が再開となりました。

長期にわたった臨時休校から、分散登校、部活動の制限、補うための土曜授業や夏休みの短縮等、さまざまな「困難」に対する皆さんのこれまでの努力を校長として大変頼もしく思います。

さて新型コロナウイルスは、関係する方々の懸命な努力により、地域における爆発的拡大には至ってはいないものの、いまだその収束が見通せない状況にあります。

現下の状況で、学習活動を再開するに際し、皆さんにお願いしたいことがあります。

一人ひとりが「新しい生活様式」に基づく感染症予防に努めていくことはもとよりですが、何よりお願いしたいのは自分もしくは仲間が罹患したときの「思い」についてです。

体調が悪く検査(PCR)を受けなければならなくなった、もしくは検査の結果「陽性」と判定された。…罹患したこと自体つらいはずなのに、そのとき頭をよぎることが、「みんなにわかったらどうしよう」との不安であつたらなおさら切ないです。

今後、本校関係者(生徒、教職員)に「感染者」もしくは「濃厚接触者」が出た際には、学校活動の制限や停止について、メール送信等により連絡することを想定していますが、その際にあつても、最もつらいであろう当事者に配慮した上での情報発信とさせていただきます。

学校にはコロナウイルス自体をやっつける力はありません。しかし、それに起因する差別や排除は徹底して否定する、そんな文化、風土をつくることに責任を持って取り組まなければならないと思っています。

罹患した人がウイルスに打ち勝ち、快復後に笑顔で登校できる学校でなければならぬと思うのです。

目に見えないウイルス、治療方法や予防薬等もまだ十分とは云えない状況は確かに怖いです。

その中にあつて感染症と戦うためには、人を敵とせず、人を仲間とし、助け合い、支え合いっていくことが何より肝要ではないでしょうか。

いつ、いかなる時であつても冷静で理性的な行動がとれる、そんな安房高生で在り続けてほしいと切望します。

みんなで乗り越えていきましょう！

令和2年8月31日

安房高等学校長 石井 浩己